

令和6年度 茨城県立農業大学校評価表

重点目標Ⅱ 【 社会性を養う教育内容の充実 】

1 現状及び課題、並びに評価項目

現 状	課 題	評価項目（達成目標）
<p>○学生は、将来農村社会を担う者として、社会性が求められるが、コミュニケーションが苦手であったり、規律性に対する意識が低いなど、社会人として必要な資質が低い学生が散見される。</p> <p>○当校は、地域で指導的な役割を果たす優れた農業経営士や農業法人経営者等とは、派遣実習等を通じて交流がある。また、当校卒業生の中には地域で活躍している者がおり、社会人として必要な資質を学ぶうえで協力を得られやすい環境にある。</p>	<p>○外部講師による講演や実習を通して、学生のコミュニケーション能力など、社会人として必要な資質を向上させる</p>	<p>社会人としての資質向上</p> <p>・コミュニケーション能力が向上した学生の割合 100%</p>
<p>○寮生活や学生の自治会活動は、様々な人の考えや問題を目的に沿って議論し、取りまとめ、ルールに基づき行動するといった、社会に出て必要な、自立や協調の精神を養う機会として、農大教育の重大な柱となっている。</p>	<p>○学生同士の交流を促し、学生が寮や各活動を自主的に運営できるようにする。</p>	<p>学生活動の充実</p> <p>・委員会活動回数 （農業部・園芸部各々年 12 回）</p> <p>・環境美化活動回数 （農業部・園芸部各々年 4 回）</p> <p>・学生自治会活動回数 （農業部・園芸部各々年 5 回）</p>

2 評価項目別の評価及び次年度の課題等

(1) 社会人としての資質向上

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント（全般）	達成度の評価基準	
コミュニケーション能力が向上した学生の割合 100%				A	100%達成
				B	80～99%の達成
				C	60～79%の達成
				D	40～59%の達成
				E	39%以下の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
<p>ア【継続】農業者による特別講義の実施</p> <p>・社会人としての資質を身に付けるため、農業経営士、農業法人経営者、女性農業士、青年農業士等による講義を実施する。 農業部3回、園芸部1回 【R5実績：農業部3回、園芸部1回】</p> <p>イ【継続】コミュニケーション能力向上のための教育の実施</p> <p>・有識者による講演を実施する。 農業部2回、園芸部2回 【R5実績：農業部3回、園芸部2回】</p> <p>・農産物直売活動における商品知識や接客〔挨拶、言葉遣い等〕について事前に学習するとともに、顧客との対面による接客を実施する。 農業部、園芸部で各2回/月以上</p>			

<p>【R5実績：販売実習活動1～2回/月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果確認アンケートの実施</li> </ul> <p>ウ【継続】資格免許等の取得促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免許取得の促進のため、学生への情報発信、助言・指導を行う。</li> </ul> <p>延べ資格免許の取得数：15種類 【R5実績：14種類】</p>			
---	--	--	--

(2) 学生活動の充実

達成目標	達成度	評価の概要	関係者評価委員会からのコメント（全般）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動回数 (農業部・園芸部各々年12回)</li> <li>・環境美化活動回数 (農業部・園芸部各々年4回)</li> <li>・学生自治会活動回数 (農業部・園芸部各々年5回)</li> </ul>			

達成度の評価基準	
A	100%達成
B	80～99%の達成
C	60～79%の達成
D	40～59%の達成
E	39%以下の達成

目標達成に向けた具体的方策	具体的方策の取組実績及び成果	次年度の課題	関係者評価委員会からのコメント
<p>ア【継続】学生活動に関する情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業部・園芸部の職員が学生の活動状況を共有し、学生に対して共通認識をもって助言・指導ができるよう、生活指導委員会を開催する。</li> </ul> <p>生活指導委員会開催回数：3回/年 【R5実績：2回/年】</p> <p>イ【継続】寮の生活環境改善への助言・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、寮の巡回を月1～2回程度行い、寮に関する課題を確認しつつ、生活環境の改善について自治会が主体的に取り組めるよう、自治会長や関係委員会に助言・指導を行う。</li> </ul> <p>助言・指導：随時</p> <p>【R5実績】委員会活動数：農業部2回、園芸部1～2回 環境美化回数：農業部5回、園芸部4回</p> <p>ウ【継続】学生自治会活動への助言・指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が各種活動を自主的に計画・実施できるよう、助言・指導を行う。</li> </ul> <p>主な活動予定</p> <p>農業部：新入生歓迎会、体育祭（5月）、学科・コース大会（6月）農大祭（11月）、東関東農大交流会（11月）、2年生を送る会（2月）</p> <p>園芸部：体育祭（5月）農大祭（10月）、東関東農大交流会（11月）、地域美化活動（1月）、2年生を送る会（2月）</p> <p>【R5実績：農業部：年6回、園芸部：年5回】</p>			